

No.2973

2020-2021年度

会 長 橋爪 誠治
幹 事 井上 修平
R広報委員長 菅原 佳典



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2020-2021年度クラブ方針

自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」



本日のプログラム

令和3年6月3日 第2974回

- ・ 会員卓話：成川守彦君「ロータリーは大きく変わるのか？ロータリーの未来形成委員会について」
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和3年6月10日 第2975回

- ・ 委員会活動報告
- ・ ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2973回例会）

開催日 令和3年5月27日(木)

点 鐘 [橋爪(誠)君]

ニコニコ箱の報告 [上野山(栄)SAA]

橋爪(誠)君：SAA、全委員長様、次年度に向けてのレポート提出、誠にありがとうございました。代読させていただきます。

井上君：昨日、会長と桜木の剪定のお手伝いに行きました。

脇村君：本日、各委員会でコロナ対策について発表させていただきました。

松村君：クラブ協議会よりお願いします。例会終了後、次年度委員長、副委員長、理事、役員の皆様、次年度理事会へのご出席よろしくお願いします。

川口君：本日のクラブ協議会、次年度への申し送り、宜しくお願い致します。

上野山(栄)君：会長、幹事、桜木の手入れありがとうございました。次年度への委員長メッセージよろしくです。

出席報告

本日の会員数28名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数25名
(出席規定免除会員8名)

会長の時間 [橋爪(誠)会長]

「考える術」

最近、公共の役に立てるアプリを自己開発しようとしています。ロータリークラブに入会させていただき、職業で社会に奉仕するという教を大切にしようと思っていますが、

仕事の枠を少し超えて、お客様にご提供できるサービスってなんだろうと最近、職場の仲間とよく話しています。例えば、我々の会社は、お客様と基本対面募集を心掛けています。一人暮らしになったご高齢のお客様と、都会に出ている子供さんとの「繋がり」のサービス、付加価値サービスの構築を目指し、最近よくアイデアを出し合い、具現化する努力を心掛けています。

また、慣れない出先でウォシュレット付のきれいなトイレを最寄りで見つけるアプリを開発しようとしています。

何もないところから、あらたなサービスを考える作業は意外と大変で、アイデアを考え出すと無言が続いたり、小難しく考えがちが否めません。

壁にぶち当たったので、「考える術」という、発明家、映像クリエイターの藤原麻里菜さんのアイデアを生み出す技を紹介した本と出合ったので少し紹介させていただきます。何もないところから、アイデアは生まれないという発想から、アイデアを生み出すには「きっかけ」が必要で、きっかけさえあれば想像が湧いてくるものと教えてくれています。

◎逆転の発想をしてそのメリットを考えてみる。

例えば、リュックは背中に背負うが、胸で背負うリュックの利点を言い合う

◎主語を変えてみる術、主語のディテールを細かくする。

例えば、単なる美人コンテストだとありふれてしまいますが、主語のディテールを変えてみると「美しくご飯を食べる人コンテスト」など、興味をそそるコンテストを生み出す

◎今の常識からアイデアを考えてみたり、ふざけた知識で考えてみる。

流れ星にお願いできるキーホルダー、お願いごと事前録音しておき、流れ星が流れる僅か1秒間に高速でお



願い事を3回再生してくれる。

◎人間の欲望からアイデアを考えてみる。

食欲を抑えるために、美味しそうな画像すべて無機質なネジにかえるアプリ。コメントがおいしそうでも、画像がネジだと食欲が湧かない効果をねらう

◎自分の心を観察しながら、最近感じた「めんどくさい」を思い出し、またそれを解決するためのアイデアを考える。

などなど色々な考える方法などを紹介してくれています。

目に映るものから、いろいろなことを考える癖をつける。自分だけの視点から、アイデアを考える術を身に着ければ、少し人生が楽しくなるかもわかりません。考えることは、人生を豊かにしてくれます。

奉仕活動も、発想力と実行力がなければなりません。例えば、以前お世話になったミャンマーの人たちにエールを送るアイデアを考えてみました。

アイデアポイント

◎今現在は、現地の方々に直接的な支援は難しい

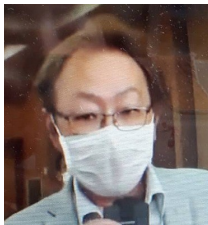
◎ミャンマー人の方々に平和的解決の想いを伝えたい

今現在出来ることは、日本にいるミャンマーの方々に励ましメッセージを送ることが、小さな、小さな第一歩だと思います。行動を起こしてから次のステップ進めていくことが大事だと思います。

「考えて、行動」をワンセットにして頑張っていきたいと思います

幹事報告 [井上幹事]

1. 有田川クリーン作戦は中止
2. 紀文まつりは中止
3. みかん海道の桜木の枝を剪定しました
4. 6月3日 第12回定例理事会



各委員長より次年度への申し送り

テーマ

1. 本年度コロナ対策の工夫した点・苦労した点
2. 次年度に向けての各委員会で試してもらいたい活動方法
3. 本年度委員長より次年度委員長に向けての激励の言葉

◎SAA 上野山栄作SAA

1. 橋爪会長におんぶに抱っこでした。モニターを活用し、会進行が分かりやすくなる様にしました。例会場でのリアル例会ではパソコン操作も行いましたが、インターネットでは会長にお任せしました。

食事の手配、ご家庭への配達、事務局さんには毎回の取りまとめ、ありがとうございました。



2. SAAとして、インターネット例会用の部屋のしつらえなど、もっとすれば見やすくなったのかと反省です。

インターネット例会でのパソコン操作は、本来はSAAの役目であると思います。(別の専任を決めても良いでしょう)

3. インターネット例会は、誰もいないのに喋るのが最初に変な感じですが、数回すれば慣れてきますので、頑張ってください。

◎クラブ奉仕委員会 應地正章委員長

1. 集まらないこと
2. 意味がわかりにくい、次年度に向けて今の委員会がこれからすることはない。次年度は次年度の委員長が独自で考えて自分のやりたいことをしてほしい。今年度の委員会が色々言ってそれが足かせになったらまずい。とにかく最重要なのはコロナ感染者を出さないことです。
3. 自分のやりたいことをやる。

◎会員組織委員会 児嶋正人委員長

1. コロナ渦の中で思うような活動が出来ず会員を増やす事ができませんでした、まずはワクチン接種を受けてからの活動になると思います。
2. コロナ対策が上手く進んでからだと会員を増やしていけると思います。
3. コロナのため非常に難しい年度が2年続きました。次年度も直ぐには良くならないと思いますがワクチン次第だと思います。まずはコロナが落ち着いてからだと思います。焦らずに頑張ってください。

◎情報・研修委員会 中元耕一郎委員長

1. 前期IDMを2020年10月14日・15日に、後期IDMを2021年3月17日・18日に橘家で開催した。感染症予防のため、対面とズームでのハイブリッド形式で行った。当初、WEBでの通信トラブル等の問題が心配されたが、ズームのセッティングには橋爪誠治会長に大変お世話になり、スムーズな会議が進行できた。今後もITを駆使できる多くの人材育成の必要性を感じた。コロナ禍での開催となったが、何とか無事に前期・後期

ともIDMを終えることができ今はホッとしている。

睦の機会を繋いで下さい。

2.次年度も情報・研修委員会委員長を仰せつかっている。今のコロナ禍の状況を考えると、次年度もハイブリッド形式でのIDM開催が安全と考える。感染症予防を第一に考え活動して行きたい。

次年度、コロナの感染状況が収束しているようなら、外部講師によるロータリーカレッジの開催も検討したい。

3.次年度も委員長なので、感染症予防を第一に考え活動を継続して行きたい。

◎例会運営委員会 脇村重徳委員長

1.コロナ禍のため外部卓話者の招聘を極力自粛し、昨年の会員卓話1件から一転して、10名の会員に延べ12件の卓話をお願いした。「自宅オンライン例会」の多用により、ニコニコ箱への献金額の減少が予想された。5月13日現在での献金総額は576,000円と昨年より若干減少したが、予算額の510,300円は既にクリアした。これは献金総件数が減る中で、1人当たりの献金額が増加したことによるものである。



2.新年度も当面はコロナ禍新年度も相変わらずコロナ禍が継続されるので、「自宅オンライン例会」に参加される方々が、例会場に来なくてもニコニコ箱献金が容易にできる方法を考えてみていただきたい。

3.コロナ禍では外部卓話者の招聘は自粛せざるを得ないので、例会運営委員会に置かれては、本年度と同様に、会長、幹事も連携しつつ会員卓話者の選定・依頼を積極的をお願いしたい。

◎親睦活動委員会 川口健太郎委員長

1.親睦活動員会はその名の通り、お互い対面での友好を図ることで、この度の新型コロナウイルス感染症は本会だけではなくあらゆる人との接触を阻む事態となり、当初事業のほとんどが中止となりました。橋爪会長提案による会員チャレンジやWEBを使つての例会など会員の繋がりを創って頂きました事に感謝致します。



2.今年中は集まる機会が制約されると思いますので、会員でネット環境にない方にはこの利便性を感じて頂くことで、有田ロータリークラブに参加している意識を持って頂けると思います。また時期によりますが集まる機会が訪れた時に備えて会員、会員家族との親睦の企画を作成して温めて頂ければ即行動に移せると考えます。出来なければ次々年度へ申し送りを行って頂き親

3.私自身、本年度は親睦活動として行動をしていませんでした。せっかくの機会を逃したのかもわかりません。会員間の結びつきをいかに太くするのかを考えることは、仕事にも応用できると思いますのでぜひ次年度委員長にはクラブに仕事にコロナ禍からのスタートダッシュで頑張ってください。

◎ロータリー広報委員会 菅原佳典委員長

1.週報の校正についてはグループLINEの活用で何とかなったように思う。また、発行は事務局の御前さんのおかげで滞りなく行えた。

「ロータリーの友」誌の解説については新型コロナ感染状況に翻弄され例会での口頭による解説がなかなか上手くできなかった。

この状況下では対外的なクラブ事業自体の開催が困難なこともあり対外的な広報活動もできない状況にあった。

2.週報については、ここ数年来グループLINEの活用で校正はできているが、すべての委員がLINEを使っているわけではないので次年度は工夫が必要かと思う。

「ロータリーの友」誌についてはオンライン例会でもZoomなどを利用し、できるだけ口頭の解説をしたほうが会員への訴求力はあるのではなかろうかと思う。

対外的な広報活動については具体的に事業が動き出さない限り方法論の問題ではないように思う。

3.次年度のロータリー広報委員長さんにおかれましては本年度の手法にとらわれずITの活用、工夫などをされ、柔軟な発想で広報活動を行っていただければと思います。

◎職業奉仕委員会 丸山芳孝委員長

1.工夫した点・・・新型コロナ禍のなか「三密」回避といわれる中、通常のイベントができない中、オンライン(ZOOM)で令和3年3月16日に箕島高校と有田ロータリークラブ会員事業者並びに関係事業者の協力のもと各社の事業説明と働くことの経験、意識付け等が職業紹介事業でできたこと。事業自体も箕島高校のホームページに掲載されるなど、意義があったと思われる。これからの事業運営の一つとして「光」が見えてきた。

苦労した点・・・ローテーションデーを企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大につき、中止せざるを得なかったこと。メンバー構成で委員会としてはメンバーが少なく、実際に動ける人が少なく、かなり役員・理事等に協力してもらったこと。

2.新型コロナ禍の中、今までどおりの活動は年内はまだ無理だと思われる。新型コロナが収縮するまでは、委員会としては、オンライン(ZOOM)等を活用した事業を

もっと活用した方が良いと思われる。そのためには、全会員がZOOM等に慣れる機会や研修をつくることが、重要だと思われる。また職業奉仕委員会は、ロータリークラブの核であり、もっと人員構成を考えてほしい。

3. 新型コロナ渦の中、なかなか通常の事業はご苦労されると思いますが、ワクチン接種等すこし「光」が見えてきていますので、収縮後に備えて今から具体的なプランを作成し、温存し、後期に色々な活動を思い切ってやってください。会員一丸となってこのトンネルをぬけるようお互い頑張りましょう。

◎社会・青少年奉仕委員会 石垣泰伸委員長

1. 世界中が今、感染症等の戦いにいます。ウィルスとの戦い世界の秩序は大きく様変わりしてしまいました。いかに元会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募るかを問題視していましたが、いまだに行く先が見えていない現状です。
本年度、社会・青少年奉仕委員会としましては、残念ながら継続事業はクラブと地域との関係をより密接にしていけることも出来ませんでした。
2. 特になし
3. 是非、次年度は歴史ある継続事業の継続を軸に事業を考えて頂ければと信じております。

◎国際奉仕委員会 福原陽司委員長

1. コロナ禍の中、私も同様、ほとんどの会員が例会場への参加が減り、リモート中心の参加となっております。奉仕活動もままならない状況です。会長と共に国際奉仕活動に励んでおりますが、会長に頼りきっている状況です。ラオス大使館、ダーラーさん、ミャンマー関係者、ジェトロ等、ラオスへの繋がりを模索しておりますが、物品寄付先も見つかっておりません。誠に申し訳ないですが次年度へ引き継ぎをお願いしたいと思っております。
2. 新たな出会いを求めて他団体との交流・企画をオンラインで模索する。
3. コロナ禍の中、奉仕活動もままならない状況ですが、また国際奉仕活動については各国が感染対策に苦悩しており渡航も出来ない状況です。ワクチン接種後もまだまだ感染は続くと思われますが、共に協力致しますので頑張ってください。



◎ロータリー財団委員会 木本隆昭委員長

1. ユーチューブ例会は、コロナ禍の中本当に有効だったと思います。只、会長を中心に一部の人の負担が大きかったと思います。
2. ワクチン接種が済んでコロナ感染の心配がなくなれば、積極的に対面での親睦を深めたいと思います。
3. ワクチン接種が済んでコロナが収束したら、今まで分を倍返しで頑張ってください。

◎米山記念奨学会委員会 上野山捷身委員長

1. 運良く、特にコロナ対策の工夫・苦労はありませんでした。本年度は主な行事(寄付・卓話)を10月の米山月間中に実施した。皆様方が大変ご協力して下さいました。感謝しています。
奨学生のお世話は川口君にお任せのままで、なにかと大変なご苦労をされたことと深く感謝を申し上げます。
2. 奨学生のお世話をして下さった川口君に卓話をお願いしてみてもどうか。
過去の奨学生等とのつながりや、その後のご活躍ぶりについてどのように対処するか。
3. 当クラブは米山について大勢の理解者と協力者がいらっしゃいますので、何の心配もありません。
ただ一人でも多くの理解者と協力者を得るよう努めてください。

◎戦略計画委員会 上野山栄作委員長

1. 委員会はリモートが多かったが、やはりリモートではなかなか意思疎通がしにくい。
それを補うためにスタッフ会議を数回リアルに行った。
2. 本年度初めての委員会だったので、より考えをブラッシュアップさせなければならない。
会運営を継続できる具体的な運営のパラダイムシフトが出来る計画が急務だと思う。
この委員会の計画が近い将来の有田RCの姿であることを再認識し、責任ある委員会運営が必要だと思います。
3. より具体的な年次目標へのアプローチが必要だと思います。
絵に描いたもちにならない様に計画して欲しい。
本年度は年次目標はその年度の会長候補が作成しましたが、本来は全員で考えるべきだと考える。全員で軌道修正しながら進めたい。